

チャトゲコナジラミ防除のための 効率的な薬剤防除法

チャトゲコナジラミの幼虫は、薬液がかかりにくい茶株のすそ部分の葉裏に多く生息するため、防除効果を高めるためには株のすそ部分に重点的に薬液を散布する必要があります。しかし、手散布ですそ重点散布を行う場合、散布むらの発生や作業能率の低下が問題となり、より効率的な薬剤散布法の確立が求められています。そこで、滋賀県農業技術振興センター茶業指導所ではチャトゲコナジラミ防除のための効率的な薬剤散布法を開発しましたので、その概要について紹介します。

☆ 技術の概要

1. 歩行によるすそ重点散布では、すそ重点専用散布機を使用すると、慣行の手散布に勝る防除効果が得られますが、その場合の作業時間は、手散布と同等かやや短縮される程度です（図1）。
2. 乗用型防除機によるすそ重点散布では、乗用防除機による上方からの3畝同時散布に比べて防除率が高まるものの、1畝毎の作業となるため約3倍の作業時間が必要となります（表1）。
3. すそ重点散布に上方からの散布を組み合わせると、防除効果が一層高まるとともに、薬液の吐出量の増加によって作業速度が速まり、作業時間が大幅に短縮できます（図2、表1）。

表1 乗用型散布機における散布方法別の防除率、作業時間

散布方法	防除率 (%)	作業時間 (分/10a)
すそ重点散布	63.7	48
すそ重点+上方散布	84.2	27
上方散布(3畝同時)	43.5	18

注) 2010年11月5日にトルフェンピラト®乳剤を400L/10a散布。



図1 すそ重点専用散布機



図2 乗用型防除機によるすそ重点+上方散布

☆ 活用面での留意点

1. すそ重点専用散布機は、クワシロカイガラムシ防除用専用散布機に散布高さ調整機能等を付加した散布機（N社製、商品名：チャトゲシューター）で、傾斜地茶園にも適応できます。
2. クワシロカイガラムシ防除用噴口を装着した乗用型防除機によるすそ重点散布では、クローラー支柱部分の噴口を改良噴口（N社製、商品名：ダッシュ噴口）に交換し、同時に行う上方散布は1畝だけを行います。
3. 詳しいことは、滋賀県農業技術振興センター茶業指導所（TEL:0748-62-0276）へ、お問い合わせください。（日本政策金融公庫 農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 吉岡 宏）